

2021地域ミーティング



1

越前市版スマートシティに向けて

～官民連携（PPP）プロジェクトによるまちづくり～



パートナー企業選定結果について

令和3年8月



新幹線駅周辺のまちづくり (全体イメージ)



官民連携(PPP)プロジェクト 対象区域

進出企業等の状況に応じて時期を検討

- ・先行整備ゾーンを除く、まちづくり計画対象エリア全体
- ・まとまった区域での一体的開発を想定 (パートナー企業が開発の中心的役割を果たす)
- ・地元・市・パートナー企業が連携して、事業実施計画書を作成し、それに基づきまちづくりを進める

先行整備ゾーン (約2ha)

新幹線開業に向けて推進

- ・新幹線開業を見据え基本機能 (ホテル等) の導入を積極的に図るゾーン
- ・立地企業による直接開発
- ・現在、ホテル (R6年春開業予定) と飲食施設 (R5年春開業予定) の立地が進行

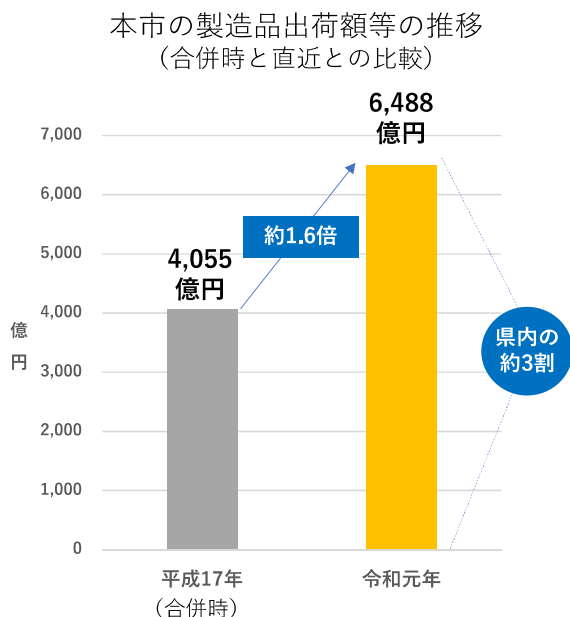


道の駅/駅西交通広場/P&R駐車場

開業予定時期: 2023年(R5)春 (新幹線開業の1年前)

「モノづくりのまち」越前市

平成17年の合併以降
製造品出荷額等は約1.6倍に増加し、
県全体の約3割を占める



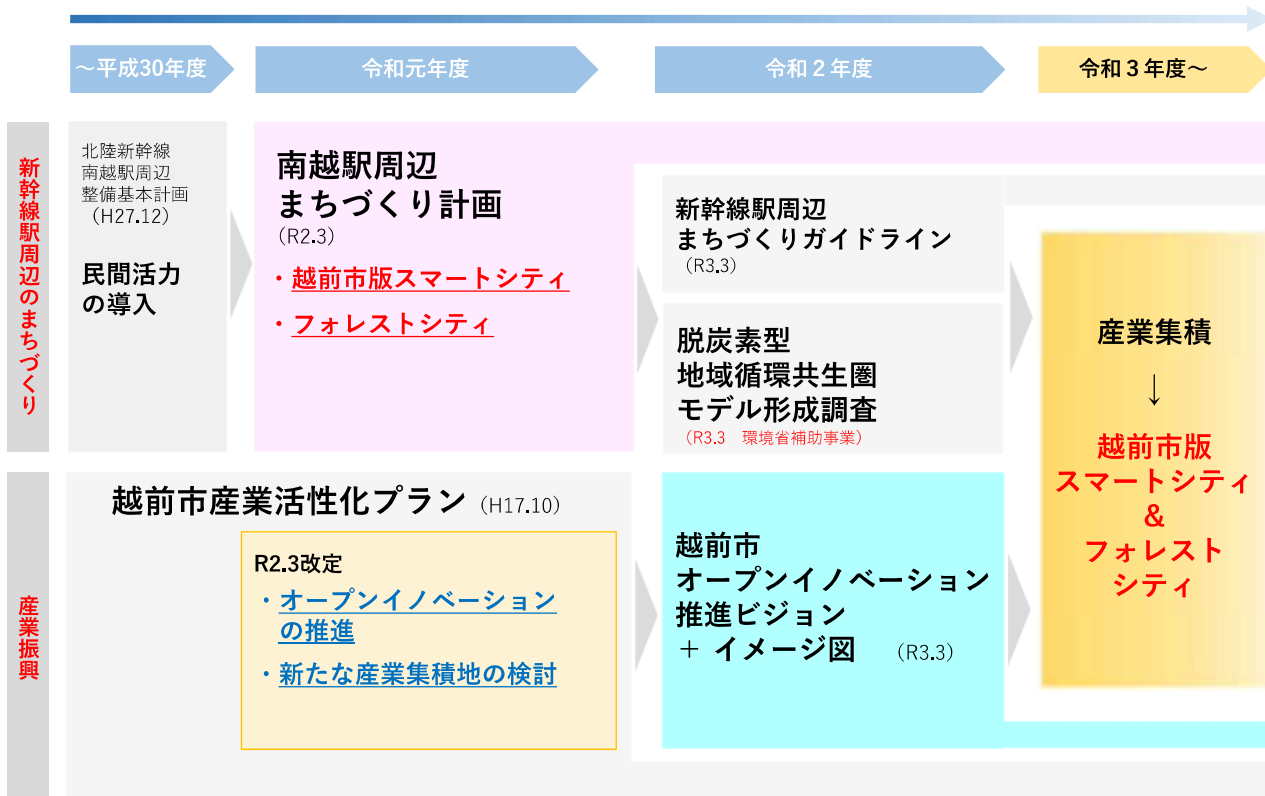
製造品出荷額等は
北陸で2位を誇る
(人口一人当たりは1位)

北陸主要都市の
製造品出荷額等 比較
(令和元年)

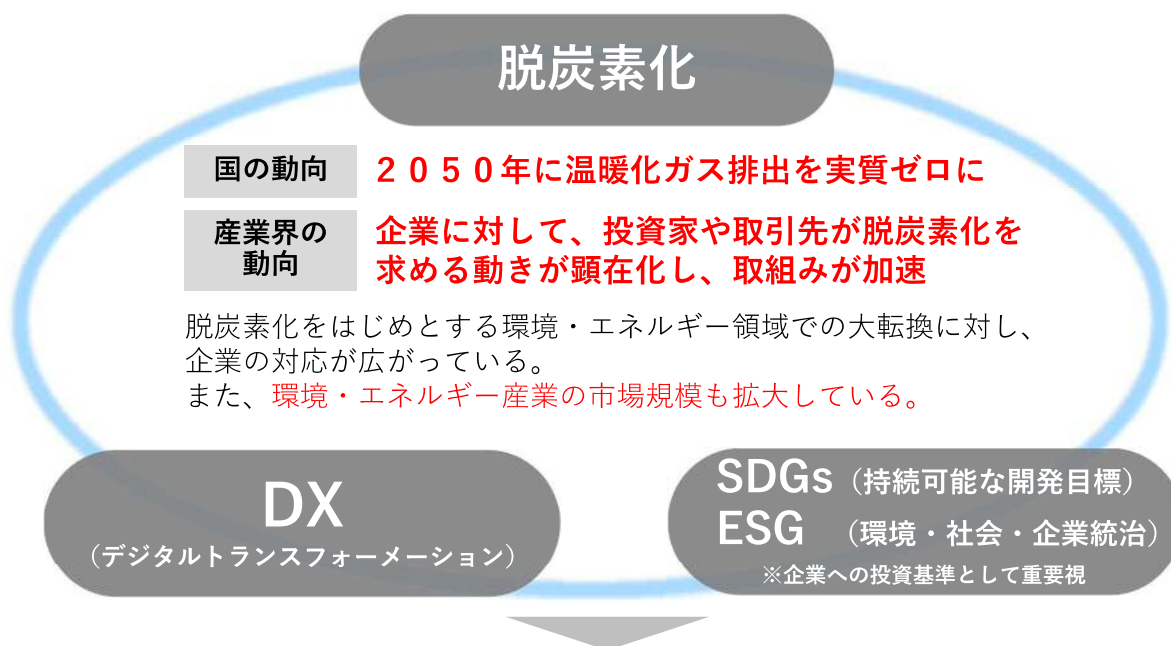
	製造品出荷額等 億円	人口一人当たり 万円
富山市 (富山県)	13,814	333
越前市	6,488	809
白山市 (石川県)	6,245	567
金沢市 (石川県)	5,767	125
小松市 (石川県)	5,715	538
射水市 (富山県)	5,283	584
福井市 (福井県)	4,587	175
高岡市 (富山県)	4,201	252
坂井市 (福井県)	3,038	344

出典: R2工業統計調査 (速報値)

新幹線駅周辺整備に向けた取組み



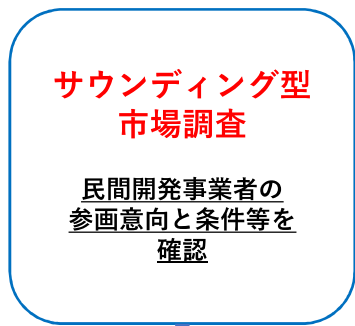
社会を取り巻く世界的潮流



これからの産業活性化に向けて

本市がモノづくりのまちとして生き残るために、世界的な潮流である脱炭素化やDX等に取り組む企業・産業が集積した最先端の拠点をつくり、市内の全産業への展開を目指す。

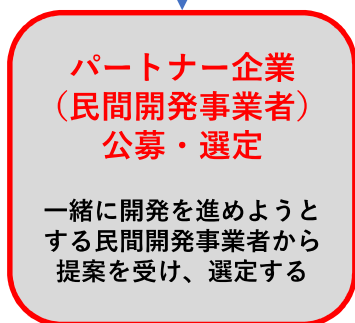
パートナー企業選定の経過



3月22日～5月7日

市場調査（対話）の総括

- ① 参加事業者3社から高い関心が示され、うち2社からは産業・商業双方の集積を図ることを含め、事業参画の検討意向が示されました。
- ② エリア全体の一体開発が望ましいという見解を示し、複数の連携企業候補との具体的な事業展開を検討している事業者が1社ありました。



5月26日～6月3日
7月30日

参加表明受付（参加表明事業者：1社）
審査委員会（提案審査）

**パートナー企業として
戸田建設株式会社を選定**

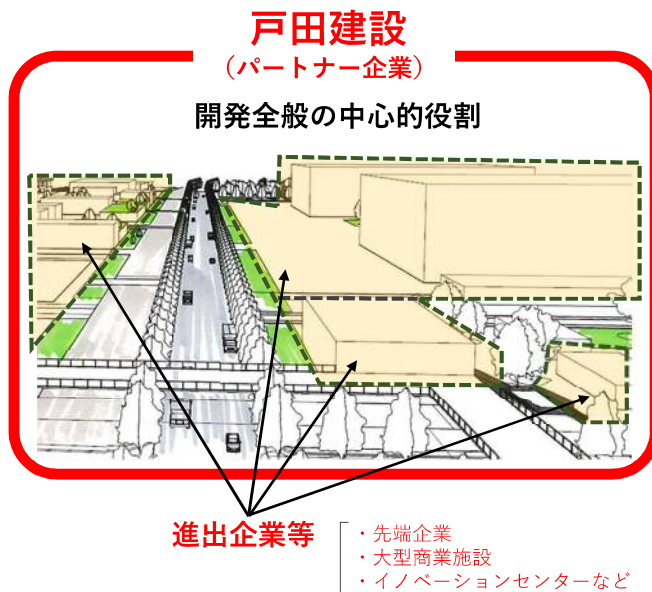
7

官民連携（PPP）でのまちづくり

官民連携のイメージ



開発における役割



**8月中旬
基本協定締結**



協定締結後、市と戸田建設は、
地元等との協議を行い、意見等を確認しながら
事業実施計画書を策定

8

パートナー企業について

戸田建設株式会社（本社：東京）

本 社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀二丁目8番5号

創 業 1881年(明治14年)1月5日

設 立 1936年(昭和11年)7月10日

資 本 金 230億円

従業員数 5,463名(連結)

- 事業内容
- ①建築一式工事、土木一式工事等に関する調査、企画、設計、監理、施工、その総合的エンジニアリングおよびコンサルティング業務
 - ②地域開発、都市開発等に関する調査、企画、設計、監理、施工、その総合的エンジニアリングおよびコンサルティング業務
 - ③不動産の売買、賃貸、仲介、管理および鑑定
 - ④再生可能エネルギー等による発電事業等

数多くの建物やインフラの構築に加え、農業6次産業化や官民連携など、新たな取り組みとして土地活用から投資開発まで総合的な支援を行っています。

国内で浮体式洋上風力発電に早くから取り組み、国内初の商用運転を開始したほか、太陽光発電所等の建設工事を数多く手がけるなど、再生可能エネルギー分野にも積極的に取り組んでいます。

また、国際的な環境イニシアチブ「RE100」に建設業界で初めて加盟し、建設業を通じ、環境保全活動を展開しています。

9

パートナー企業について

パートナー企業の事業実績（茨城県常総市）

（提案資料から引用）

圏央道常総インターチェンジ周辺地域整備事業（アグリサイエンスバレー構想）

農業6次産業化による先進的な地方創生事業モデルの実現に向けた取り組み

茨城県常総市の圏央道常総インターチェンジ周辺に、高生産性の「農地エリア」と、加工・流通・販売が連動する「都市エリア」を集積することで、生産（第1次産業）～加工（第2次産業）～流通・販売（第3次産業）が一体となった地域農業の核となる産業団地（6次産業）を形成し、市の基幹産業である農業を活性化するためのまちづくりを目指します。

当社の業務内容

官民連携（PPP）事業の事業協力者として、2014年から構想に参画しています。常総市での新たなまちづくりにあたり、地域・自治体・企業が融合し、持続的な発展を支える産業を組み込む仕組みをつくり、事業全体のマネジメントを推進しています。

【主な業務】・土地区画整理事業の業務代行 ・企業誘致 ・施設園芸の実証研究 ・民間集客施設の整備・運営

事業のポイント

農振農用地における開発のため、農振除外については、当該地域における農業生産性の向上が図れるという理由で除外への理解を得ました。また、農地エリアと都市エリアの地権者間における事業面での公平性に配慮し、全員同意のもとで事前に土地の交換作業を行い事業を推進しました。

スケジュール

- 2014年 常総市・地元・当社でPPP協定締結
- 2017年 道の駅構想立上げ
- 2018年 土地区画整理事業に着手
- 2020年 道の駅の指定管理者決定
- 2022年 建築工事着手
- 2023年 まちびらき予定

【完成予想図】



当社HPより

【当社の施設園芸実証ハウス】



当社HPより

【ハウスでのいちご栽培】



当社HPより

10

市とパートナー企業がアプローチしていく第一期の主な進出企業候補

APB株式会社 (次世代リチウムイオン電池「全樹脂電池」の世界初の商業化)

全樹脂電池を開発した堀江英明氏(慶大特任教授)が2018年に設立
筆頭株主である三洋化成工業のほか、ENEOS、JFEケミカル、大林組、帝人、豊田通商、横河電機などの上場企業が資本参加

生産施設・研究施設等

2025年以降 売上高目標 900億円
↓
数十ギガワット級の工場建設に
1千億円を投資
(R2.12.21日経)

市内での新工場建設を具体的に検討



官民連携 (PPP) プロジェクトによる
まちづくりの中で、**新工場立地を先行して推進**
※**県が全面支援**



R3.5.25日経

商業施設

大型商業施設の誘致

(規模や店舗構成など整備内容については
進出企業候補と協議中)

交流施設

福井ユナイテッドFC

(サッカーリーグ参入を目指す福井県を代表するチーム)

サッカー練習場・クラブハウスの
立地を検討

(グラウンドの規模など整備内容については協議中)

11

新型コロナウイルス感染症対策

うち約7割にあたる
5億4,500万円が
産業・観光関連対策

総額 約7億5,837万円(6月補正など含む)

感染症により甚大な影響を受けている事業者等を支援し、感染症対策を
引き続き実施するため、年度間の切れ目のない予算を編成

- ①福祉関連対策 生活困窮者自立支援 など
- ②産業関連対策 飲食店応援! 家族で食事券発行事業 など
- ③観光関連対策 観光誘客促進事業
- ④教育関連対策 学校施設等感染症対策事業 など
- ⑤公共交通対策 市民バス(のろっさ)感染症対策費 など
- ⑥防災対策 地域防災対策事業(避難所の感染症対策)
- ⑦公共施設感染症対策 Web会議等接続用端末導入費 など

コロナの影響を受ける事業者の支援

ウィズコロナ・アフターコロナ に対応しようとする

前向きな取組みを支援

●コロナに負けない事業所等応援事業補助金

【事業費 6,500万円】

補助率10/10、最大10万円を補助

改善点: 手続きの簡素化、押印廃止など

活用例: 非接触型体温計や空気清浄機の購入、
テイクアウト用品購入、動画配信用の
システム導入、宣伝用チラシなど。



●新型コロナウイルス感染症伴走支援資金

利子補給金【事業費 4,488万円】

県の制度融資を受けた事業者の利子分を補給
補給内容 1年間、全額



●飲食店応援！家族で食事券発行事業

【事業費 1億5,520万円】

子育て世帯等に食事券(1万円)を発行し、飲食店を支援。利用は9月末まで。 ¹³

コロナの影響を受ける事業者の支援

ウィズコロナ・アフターコロナ に対応しようとする

前向きな取組みを支援

●小規模事業者伴走型持続化補助金

【事業費 1,350万円】

中小企業も対象に加え、DX枠や
脱炭素枠を新設し、優遇支援
補助率 2/3(上限 60万円)

●人材育成支援事業【事業費90万円】

従業員が受講するDX研修や、外部
指導員を招いた研修会に対する補助
補助率 1/2(上限10万円)

●クラフトフェス事業補助金

【事業費 1,300万円】

8/28(土)、29(日)の両日に開催予定の

千年未来工藝祭で、伝統産業のデジタル工房見学など

【イメージ】



そのほかの産業支援策

●展示会等出展支援事業補助金

県外の展示会に出展する場合、経費の一部を補助

補助率 1/2(20~50万円)

【拡充】オンライン展示会への出展

●UIJターン就職奨励金

40歳未満の人が1年以上継続して就労した場合、10万円を交付

●水道料金の改定(水道課)

10月からの水道料金の引き下げを目指し、水道料金協議会で審議協議会からの答申を受け、市議会9月定例会へ

●新型コロナウイルス対策

バスツアー助成(観光協会)

貸切バス等を利用し、市内で食事・宿泊を行う団体ツアーを助成【個人グループ(5人以上)】

- ① 食事+ツアー 500円/人
- ② 宿泊+ツアー 1,500円/人
- ③ ①②で市内バス・タクシー利用の場合、運賃・料金の90%助成

水道料金の値下げについて

7月30日に市水道料金協議会から水道料金の値下げに関する答申が出されました。

日野川地区水道用水供給事業により購入している県水の供給単価が引き下げられたことを受け、市水道料金協議会を設置し、水道料金の値下げについて検討されていたもので、答申内容を踏まえ、給水条例の一部改正(案)を市議会9月定例会へ上程してまいります。

水道料金の値下げは、10月1日から実施予定です。

答申に基づく具体例

水道メーター口径13mmの場合

2人世帯 2か月の使用水量 30m³

(現行) 4,543円

(改正) 4,268円 **275円(-6.1%)値下げ**

4人世帯 2か月の使用水量 60m³

(現行) 10,648円

(改正) 10,208円 **440円(-4.1%)値下げ**

17

新型コロナワクチン接種について

5月17日から、本格的なワクチン接種が始まり、約2か月半が経過しました。計画を上回るスピードで接種が進んでいます。

越前市のワクチン接種状況

7月末日現在



	回数	接種人数	接種率
65歳以上	1回目	21,300人	85%
	2回目	19,000人	76%
対象者全体	1回目	35,000人	48%
	2回目	22,000人	30%


当初目標
70%

64歳以下 接種予約スケジュール

6月18日(金)、16歳～64歳の方に「接種券」を発送

※12歳～15歳は、7月9日(金)発送



集団接種 40%		個別接種 60%
①(優先予約) 7月1日(木)～	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎疾患を有する方 ・高齢者施設等の従事者 ・保育所・幼・小・中学校の教職員 ・60歳～64歳 ※7・8月接種分	6月19日(土)～ 各医療機関が設定したスケジュールに従い、予約開始
②(優先予約) 7月8日(木)～	40歳～59歳 ※7・8月接種分	6月30日(水) ワクチン供給量減少のため、新規予約を一時停止
③ 7月15日(木)～	39歳以下 ※7・8月接種分 ▼ワクチン供給量減少のため一時停止	7月15日(木)～ 新規予約再開
④ 7月28日(水) ～ 8月7日(土)	1回目のみ予約済みの方の2回目分予約再開	
⑤ 8月10日(火)～	すべての希望者の 新規予約開始	

接種希望者全員の10月接種完了に向けて

接種見込数

想定接種率 (65歳以上85% それ以外70%)

・65歳以上	約 42,000 回 (約 21,000人)
・12～64歳	約 68,200 回 (約 34,100人)
合計	約 110,200 回 (約 55,100人)

接種計画

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
個別接種	1,000	4,500	11,300	12,500	10,500	10,500	8,900	59,200
集団接種		450	5,500	8,600	7,500	7,500	4,850	34,400
県集団接種				1,000	1,000	1,000	1,000	4,000
職域接種			2,000	4,000	4,000	2,600	0	12,600
合計	1,000	4,950	18,800	26,100	23,000	21,600	14,750	110,200
累計	1,000	5,950	24,750	50,850	73,850	95,450	110,200	
実績	1,000	5,950	27,500	57,000				

ワクチン接種を円滑に進めていくために

ワクチン供給量に応じた調整

国からのワクチン供給量情報に応じて、接種計画を調整します。



職域接種との調整

職域での接種と連携し、効率的に接種を進めます。



最新情報の提供

市ホームページに、最新情報を掲載し、原則、毎週木曜日に更新します。

各医療機関の予約状況等については、随時更新します。

このスライドは8月4日（水）会場のみ

旧丹南広域農道の4車線化 (令和2年度～令和8年度予定)

